

感染状況・医療提供体制の分析 (9月15日時点)

[9月16日モニタリング会議]

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	前回の数値 (9月8日公表時点)	現在の数値 (9月15日公表時点)	前回との比較	これまでの最大値	項目ごとの分析			
感染状況	①新規陽性者数※1 (うち65歳以上)	1,985.7人 (110.1人)	1,095.1人 (77.4人)		4,701.9人 (2021/8/19)	総括コメント	感染が拡大している		
	潜在・市中感染	②#7119 (東京消防庁救急相談センター)※2における発熱等相談件数	91.7件	78.6件		209.7件 (2021/8/16)	新規陽性者数が減少した後の最小値は、第1波以降、感染拡大の波を繰り返すたびに、前回の最小値より高くなっている。感染の拡大が懸念される冬に備え、新規陽性者数を十分に減少させる必要がある。 個別のコメントは別紙参照		
		③新規陽性者における接触歴等不明者※1	数	1,066.3人	593.0人				2,882.6人 (2021/8/19)
			増加比※3	56.5%	55.6%				281.7% (2020/4/9)
検査体制	④検査の陽性率 (PCR・抗原) (検査人数)	12.3% (11,575人)	8.6% (9,817人)		31.7% (2020/4/11)	総括コメント			体制が逼迫している
医療提供体制	受入体制	⑤救急医療の東京ルール※4の適用件数	82.1件	80.6件		145.1件 (2021/8/14)	新規陽性者数の減少にもかかわらず、累積した入院患者数及び重症患者数は、未だ高い水準で推移している。新規陽性者数が増加に転じれば、医療提供体制は、再び危機的状況となる。 個別のコメントは別紙参照		
		⑥入院患者数 (病床数)	4,008人 (6,319床)	3,097人 (6,583床)		4,351人 (2021/9/4)			
		⑦重症患者数 人工呼吸器管理 (ECMO含む) が必要な患者 (病床数)	252人 (492床)	198人 (503床)		297人 (2021/8/28)			

※1 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

※2 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※3 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※4 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

【参考】VRSデータによる都民年代別ワクチン接種状況 (9月14日現在)
(注) 医療従事者等は含まれない

都内全人口

1回目59.0%

2回目47.7%

接種対象者 (12歳以上)

1回目67.8%

2回目54.7%

高齢者 (65歳以上)

1回目88.3%

2回目86.4%

総括コメントについて

1 感染状況

<判定の要素>

- いくつかのモニタリング項目を組み合わせ、地域別の状況等も踏まえ総合的に分析

<総括コメント（4段階）>

-  感染が拡大している（と思われる）／感染の再拡大の危険性が高いと思われる
-  感染が拡大しつつあると思われる／感染の再拡大に警戒が必要であると思われる
-  感染拡大の兆候があると思われる／感染の再拡大に注意が必要であると思われる
-  感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

2 医療提供体制

<判定の要素>

- モニタリング項目である入院患者や重症患者等の全数に加え、その内訳・内容も踏まえ分析例）重篤化しやすい高齢者の入院患者数
- その他、モニタリング項目以外の病床の状況等も踏まえ、医療提供体制を総合的に分析

<総括コメント（4段階）>

-  体制が逼迫している（と思われる）／通常の医療が大きく制限されていると思われる
-  体制強化が必要であると思われる／通常の医療との両立が困難であると思われる
-  体制強化の準備が必要であると思われる／通常の医療との両立が困難になりつつあると思われる
-  通常の体制で対応可能であると思われる